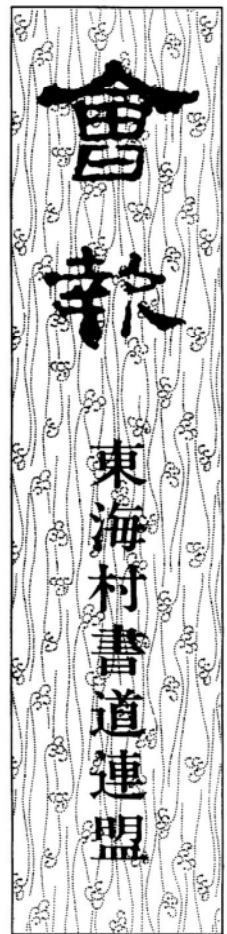


鑑賞シリーズ No. 35



敬愛 1961 84歳 佐久山中学校蔵



第101号

発行責任者
千葉龍亭
東海村村松2649-29
TEL 029-283-0520

豊道 春海

(一八八七年〜一九七〇年)

豊道春海は明治十一年九月、栃木県に生まれた。十四歳で西川春洞に師事したが、まだ幼少であったためか、あるいは僧籍にあつたためか、師は楷書十年の修業を課した。

それがこの人の骨格の強固な書風の基となったが、草書や行書においても、その姿勢が貫かれていて、いかにも信念の人らしい強靱な書をつくりあげた。

また書道教育の復活、書道会の大同団結、日展参加、書道の復旧等、書道の復興と振興にも力を尽した。今日の書道界の隆盛は春海の尽力に負うところがきわめて大きいと云つても過言ではない。

日本芸術院会員、従三位勲二等文化功労者、瑞雲書道会創立者

参考資料―「書」―戦後六十年の軌跡 東洋のこころ「豊道春海展」図録



五月二十日(日)中丸コミュニティセンターに於いて、東海村書道連盟の総会と書道講演会が開催されました。当日は、総会終了後に書道講演会開催のため、会員の皆様には早朝から集まって頂きありがとうございました。

皆さんのご協力により、スピーディに総会、講演会の準備が整えられ、予定時間通りに総会を始めることができました。

総会は奥村副理事長の司会ではじまり、千葉理事長から書道連盟創立四十周年記念行事や会報の一〇〇号記念特別号発行についてのご協力お礼、昨年度の事業へのご協力に感謝の言葉があつた後、佐藤一男氏の議長で議事進行に移りました。石田会計総括より、二十九年度の決算報告があり、続いて三十年度の事業と予算案が提案されました。役員も承認されました。

役員の改選については理事長からお話があり、金田次雄理事が都合により辞任されるため、後任に佐藤一男氏を新理事に推選して、その他は全員、留任でお願いしたいとの提案がありました。満場一致で承認されました。

講演会は、ひたちなか市在住の長山素龍先生を講師にお迎えして「甲骨文の一般的知識と竹筆による書き方」という内容での開催となる旨、説明が有り総会は予定の時間で終了しました。

平成30年度
東海村書道連盟総会
書道講演会開催

第二十一回 東海村書道連盟主催

書道講演会

講師 長山 素龍 先生

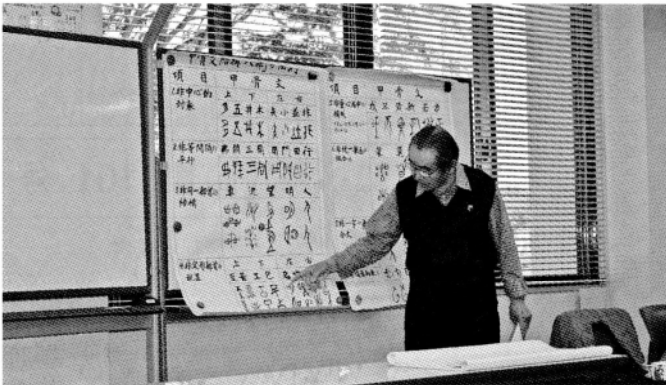
五月二十日(日)中丸コミュニティーセンターに於いて、東海村書道連盟主催の第二十一回書道講演会が開催されました。今回は講師に、ひたちなか市在住の長山素龍先生をお迎えしての講演会でした。

演題は「甲骨文の一般的知識と竹筆による書き方」という初めての講演内容でした。

長山先生は、甲骨文書道「亀鑑院」の教授、水戸市民センターの書道・ペン習字講師、ひたちなか市書道連盟会長、県芸術祭会友等を歴任されており、大変お忙しい方でいらつしやいます。が、村文化協会を通して講師をお願いしたところ、私どものために快くお引き受けいただきまして実現した訳です。

なお、当日は甲骨文についての資料や写真、図録等も持参していただいて、初めて甲骨文についてお話を聞く方にも、分り

やすいようにご配慮いただき、たいへん良かったと思います。また、先生手づくりの竹筆を沢山持参いただいて、受講者全員が竹筆による文字の書き方を体験することができ、貴重な体験となりました。



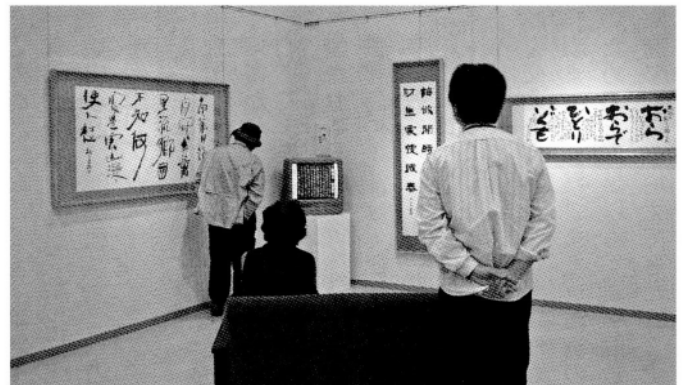
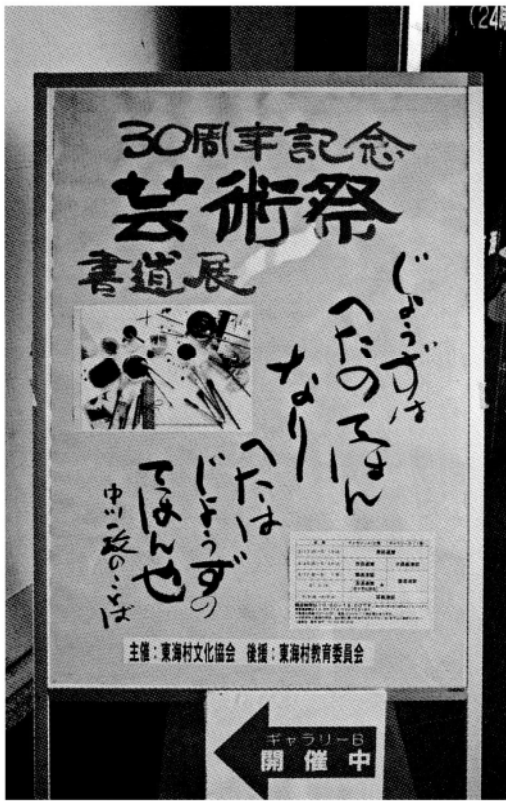
創立30周年記念 東海村芸術祭

創立三十周年記念東海村芸術祭が開催されました。書道連盟の展示は五月二十七日(日)から六月二日(土)でした。

今回は記念展のため、各連盟はそれぞれ工夫をこらした展示や行事を実施しましたが、書道連盟は「連盟創立四十周年のあゆみ」の展示と有名書家の揮毫を会場でビデオ放映しました。

「書道連盟のあゆみ」は連盟の活動の外に、文化協会の設立から現在までの流れ、村の文化芸術活動、施設の動き等も併載しているため、「村の取り組みが分る貴重な記録だ」という村幹部の方もおられました。ビデオ放映は参観者から「書道ってこんなにして書いているのですね」「書いている所を初めて見ました。」等という声が聞かれ好評でした。

なお会員の出品作は楷、行、草、篆、隸かな、近代詩文書、甲骨文、篆刻と内容豊富な書展になりました。



東海村の姉妹都市、アイダホフォールズ市の学生訪問団の来村に伴い役場広報課より、「書道体験」を計画しているので対応をお願いしたいという要請が文化協会事務局を通じてありました。今回は訪問団の移動の関係で会場の会議室を使用すると云うことでしたので文化協会事務局と一緒に担当者との打ち合わせ、会場の下見、設営と用品準備をした後、指導者四人で臨みました。訪問団は、学生十五人、引率者三人の合計十八人でしたが、来村二回目の方が三人おられました。当日は最初に通訳の方の助けをもらって書道について簡単に説明してから実技に移りました。最初に線引きの練習をして筆の感触を確かめてから各自参考手本を選び、鉛筆で印した筆順に従って書いてもらいましたが、ビックリする程の傑作もありました。最後に気になった言葉をウチウチに書いてお持ち帰りいただきましたが私たちにとってのも楽しいひと時でした。



学生訪問団書道体験

国際親善姉妹都市アイダホフォールズ市

大人気の夏休み作品教室、半切作品に挑戦



二〇二〇年から小学一、二年生も毛筆による書写がはじまることもあって、夏休み作品教室は相変わらず大人気です。指導は、役員を中心にお願いして、さすがになにしる重労働？ですから各自の体調等を考えてお願いしています。

午前と午後、二回の指導ですが、低学年の指導に当たった人たちは特に疲れたと話していました。

筆を持ったことのない児童に半切作品を一時間半で二枚、完成させるのですからたいへんです。

一枚はJA共済小中学生書道コンクール用として学校へ提出し、もう一枚は十二月の東海村子ども芸術祭展示候補作品として事務局に保管されています。



初心者のための豆知識

漢字仮名交じり書①

漢字仮名交じり書とは、漢字と仮名の交ざった語句や詩文（詩・短歌・俳句・小説・歌詞など）を書いたものです。現代では特に、私たちが日常使う日本語をそのまま素材とする書の分野をさします。

これまでの時代のなかで、どのように漢字、仮名交じり文が表現されて来たでしょうか。

平安時代

この時代においても、漢字を交えて書かれた和歌や物語、絵詞などに漢字仮名交じりの書の原型がある。

江戸時代

公用文書・学術文書は、漢文で書かれていたが、実用的な文書は、漢字仮名交じり書で書かれることが多くなったが、書作品の主流は、伝統的な漢字、仮名の書であった。

明治時代

公的な文書なども漢字と仮名を交えたものとなり大衆にも広まってきた。また、鑑賞のための書作品にも、漢字仮名交じり書が増えてきた。文士

や画家、学者などの書にも高い評価を得ている名筆が多くある。

現代

漢字仮名交じり書は、日常的で身近なものを素材とした表現で、漢字、仮名の書に並ぶ分野として親しまれるようになった。書かれる内容を汲み取りながら、さまざまな表現が工夫されている。

参考資料
光村図書「高校教科書」

もうすぐ文化祭です
作品の準備は進んでいますか？

— 展示部門 —
期日 十一月二日（金）
十一月四日（日）

場所 総合体育館

※出品規格等詳細後送
※会員以外の方もお誘いして多数の参加をお待ちしております。

書展ガイド

- ▼日立市展
9月8日(土)～9月16日(日)
日立シビックセンター
- ▼茨城県芸術祭美術展覧会
11月22日(木)～12月3日(日)
県民文化センター
- ▼東海村文化祭
11月2日(金)～11月4日(日)
東海村総合体育館特設展示場
- ▼墨游展
11月25日(日)～12月1日(土)
東海ステーションギャラリー
- ▼小室李裕展
12月2日(日)～12月8日(土)
東海ステーションギャラリー
- ▼茨城藍菊会展
2月24日(日)～3月2日(土)
東海ステーションギャラリー
- ▼墨KOKORO展
3月17日(日)～23日(土)
東海ステーションギャラリー



北国の親戚から「そろけないで暮してるか？」と電話が届いた。この猛暑には体調もおかしくなる。会報の発行も、とろける寸前でした。

奥村雅道
千葉龍亭